

【議事概要】徳島県立木のおもちゃ美術館

委員	季節や平日、土、日曜日によって来館者数はかなり落差があると思うが、スタッフの対応、それから勤務状態はどのようになっているのか。
申請者	6名から8名ぐらいの常駐スタッフが現場におり、それ以外はボランティアスタッフのおもちゃ学芸員がいる。おもちゃ学芸員に関しては、あくまでボランティアのため、人数は日によってまちまちという状況。休日は受付業務が忙しくなるため、スタッフを増員して運営している。
委員	あすたむらんどとの連携はどのように考えているか。
申請者	この4年間はうまくいったと感じている。あすたむらんど指定管理者との連携を長年行っており、日頃からしっかりと連絡を密にしている。先日、当社イベントも、あすたむらんどで開催し、その際にはおもちゃ美術館コンテンツでの連携が出来ていた。今後も引き続き、連携していきたい。
委員	子どもだけではなく、もう少し大人が楽しめることや、美術館という要素が少し薄いと感じるが、どのように考えているか。
申請者	御質問については、重要な課題であると感じており、多世代の方に来ていただきたいと考えている。イベントも、ファミリーが参加するイベントではなくて、大人の方、例えば大学生や高校生の方々が参加できるイベントを増やしたい。また、スタッフ構成も多世代にあわせて考えていく。
委員	木工彫刻を展示、あるいは庭に飾ったり美術館として、大人も楽しめるような場所を作ることができないか。
申請者	アートの部分は子どもだけでなく大人も非常に楽しめる内容だと思う。県林業振興課との連携、様々な職人とのコラボを含め、検討したいと思う。

委員	運営体制が今回変わるということで、入館者も増えている中、今回1年の契約期間のために、スタッフ募集ができるのか。
申請者	メディアと様々なツール持っているため、しっかりアナウンスはできていると思っている。体制的に足りない状況になれば、本社スタッフの異動で対応できる。また、現在のパートスタッフの継続雇用も考えている。
委員	おもちゃ学芸員の勤務中の事故については、どのように管理しているのか。
申請者	登録されたおもちゃ学芸員の方は、ボランティア活動保険に加入するようにしている。
委員	現在のおもちゃ学芸員の方は、子育てということにフォーカスした方が多いのか。先ほど大人向けという質問があったので、大人向けにボランティアスタッフとかも今後入っていただけると良いと思うが。
申請者	経歴としては、学校の先生、保育士の経験がある方が多い。それ以外にも、木工、折り紙が得意な方もおり、そういった方々を中心に、おもちゃ学芸員さんの中でサークルみたいなものができている。これらの活動も楽しみの1つになっている。
委員	指定管理が1年度契約になったことに対して、運営上大きく問題になることはあるか。
申請者	雇用するスタッフは、1年契約になるため、事前にしっかりとご理解いただいたの雇用になる。運営上は特に不具合要素はない。
委員	実績についての自己評価、実績を踏まえて来年度以降改善を考えていることはあるのか。
申請者	目標は達成しており、県内外問わず来館していただいている。ご来館いただいた方に、さらにその木の良さをご理解いただくため、県内の団体・企業との連携、コラボを進めていきたい。同じ姉妹おもちゃ美術館でも違いがあり、徳島木のおもちゃ美術館にあるユニークな

	個性に惹かれてリピートしていただくことも多く、それは保ち続けていきたいと考えている
委員	体制を変更することによるおもちゃ学芸員への影響はあるか。
申請者	体制の変更で戸惑う方もいらっしゃると思う。おもちゃ学芸員の方々への声かけは、半年をかけて綿密に行いたいと考えている。
委員	コンテンツも魅力的で木育の部分でも優れていると思うが、県産材利用について具体的にアピールする点はあるか。
申請者	林業関係の方々と話をする中で、連携が難しい点が多くあったが、関係性を強く持った職人の方もおり、そこを中心に県林業振興課とも連携しながら取り組んでいきたい。